

平成25年度生活環境部会活動報告

部会長 若 杉 勇

1 部会での活動

平成25年度生活環境部会は年度内に3回の会議と3回の東海市エコスクール実行委員会を開催しました。企画の内容についての検討やPR活動についてのあり方について検討を重ね、よりよい東海市エコスクール事業の実施に取組みました。

また、環境基本計画後期計画の見直しが実施されました。一部の指標は前回よりも高い水準に目標値を見直ししたり、新しく目標値を設定し「未来につなぐ 美しいふるさと東海」へ向けて取組みを推進していきます。

2 実施事業

平成25年度東海市エコスクール 開催実績

- ① 事務局企画講座 : 7講座 関連企画講座 : 13講座
- ② 公募企画講座 : 4講座 保育園共同講座 : 3講座
- ③ 参加人数総合計 964人

3 講座の様子



「知多半島のエネルギーを学ぼう」
中部国際空港のリサイクルセンターにて、
講師から説明をうけている様子

「もっと知りたい発酵食品～見る！知る！
作る！おつけもの講座～」
ダイニチ食品(株)にて、キムチ作り体験を
通して、乳酸菌について学んでいる様子



4 振り返り

東海市エコスクールは、同実行委員会が企画した事務局講座や他課が行う関連講座、一般からの応募で行う公募講座の3つから成り立っており、平成25年度は、27講座(うち3講座中止を含む)、964人の参加がありました。平成24年度の971人より若干少なめではありますが、好調に推移しております。

今回の講座で、市内で活躍されているダイニチ食品株式会社を新たなフィールドとして「もっと知りたい発酵食品～見る！知る！作る！おつけもの講座～」を新たに開催しました。身近で古くからある発酵食品を活かした講座で、参加者から大好評をいただきました。今後も市内の事業所から協力を得ながら、新たな広がり注力したいと思います。

エコスクールの様々な講座の中で、公募講座は、3～5の講座を毎年開催しております。しかし、新しい団体等から応募がなかなかありません。そこで、新しい団体等からの応募が来るよう、生活環境部会で現状の問題点を洗い出し、その解決策について検討しました。多くの議論を重ねた結果、より一層のPRをすべきとの結論に達しました。分かりやすいチラシを作成し、市内だけでなく市外の施設にもチラシを配布し、PR活動に注力しました。PR効果は、平成26年度以降にならないとわかりませんが、効果確認を行い、公募講座を拡充していきたいと思っております。

5 今後について

今後の課題としては、講座1つ1つの質の向上です。参加者から講座のアンケートをとっておりますが、環境問題への考え方についての設問があり、多くの回答が「変わらない」、「わからない」です。今後、講座を通して、環境問題への考え方が変わるよう、キーワードを発信したり、参加者の意見を求めて、環境問題について考えてもらえる時間を取りたいと思っております。

以上